

2015年7月28日 掲載 輸送経済新聞

▼荷台にカメラ

「荷台にカメラを付け、揺れに対する理解を促している」と武藤幸規第一貨物社長。輸送中の荷崩れを防ぐため、ドライバーに荷台内部を見せ、急発進・



急制動など貨物事故につながる運転を改めるよう意識改善を図っている。「荷物事故だけでなくマナーやあいさつも品質向上に不可欠。一番効いているのは教育」